

研修NO.

17-22

事例で学ぶ 5Sと目で見える管理(秋期)

現場改善実践編

対象者

管理者・新任管理者・グループリーダー等

研修のねらい

製造の現場に多く存在するであろう、すぐには必要とされない材料・工具・仕掛品などが、時に作業を妨げ、ムダを生み、企業の収益を圧迫することがあります。

この研修では、生産現場のムリ・ムダ・ムラを発見し、整理・整頓・清潔・清掃・躰(5S)と、「見える化」を実現する手順を学び、自社の現場改善と改善活動を定着させる手法を習得します。

このような方におすすめ

- ★生産部門の管理者として、改善活動を理解し具体的な手法を学びたい方
- ★自社の現場改善を実践的にやりたい方
- ★自社の5S活動の実実施計画を立案したい方

実施期間

全4日間(27時間)

2017年10月24日(火)~27日(金)

定員

35名

受講料

38,000円(税込)

※宿泊費は含まれません。

※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

受講生の声

- ◆理解しやすく、言葉の意味から説明していただき、今まで何気なく使っていた言葉も参考になりました。
- ◆5Sは分かっていましたが、今回の研修を通して改めて5Sの大事さを感じました。
- ◆参加した全社の問題点を、写真で見る事ができ、とても分かり易く受講出来ました。

研修カリキュラム

日程	研修テーマ	内容
10/24(火) 9:40~17:40	1. 5S活動の重要性とその効果について 2. 5Sの定義、整理・整頓・清潔・清掃・躰の内容(演習)	●生産性を阻害する様々な現象とその要因について解説し、5S活動により改善できる効果についてその関連を解説します。 ●5Sの各活動の定義について理解するとともに、演習を通じて、それぞれの改善方法について習得します。
10/25(水) 9:20~17:20	3. 5S活動を実施する代表的な手法と活用手順 4. 目で見える管理の実施とその事例(演習)	●5Sを実施定着させるために使われる手法(定点撮影法等)を紹介して、社内で展開する手順や留意点などを解説します。 ●目で見える管理の考え方とその実施例を学び、ケース演習などを通じて自社の状態を目で見える管理に移行できる方法を習得します。
10/26(木) 9:20~17:20	5. ムリ・ムダ・ムラの発見ポイントとその改善(演習)	●ムリ・ムラ・ムダの定義と、その発見のしかたを学び、ケース演習などを通じて、自社のムリ・ムラ・ムダを発見し、改善できる能力を習得します。
10/27(金) 9:00~16:00	6. 自社課題解決(演習)	●今後の自社の5S活動の実実施計画を立案します。

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶鈴木 規男(すずき のりお)

有限会社 コンサルティング・ベル・オフィス 代表取締役

慶應義塾大学工学部管理工学科卒業。ヤマハ発動機(株)を経て、94年経営コンサルタントとして独立し、コンサルティング・ベル・オフィス設立。

専門分野は5S、IE、生産管理等。国内、海外においてコンサルティング活動を行う他、中小企業大学校各校や海外技術者研修協会等の研修の講師としても活躍し、理解しやすく楽しい講義には定評がある。